

「ウチきていいよ」システム～ファミリーサポートIT & 令和版

☰ 概要

【コンセプト】昭和時代の「ウチきていいよ」を令和に。社会で助け合い、子供を育てよう

【概要】よその子の面倒を見る余裕があるおうちが、ちょっとした時間、預かってあげるようにできる

- ①利用ユーザー、サポートユーザー、両方ユーザーを登録。
- ②サポートユーザーは、「ウチきていいよ」の時間と「その内容」を公開
- ③利用ユーザーは、登録者に利用時間とメッセージを送りOKで成立（このへんは、キッズライン <https://kidsline.me/>と一緒）
- ④利用者は「謝礼」をシステムを通じて払う（地域運用を前提で、地域通貨などを発行してもよいかもしれません）

簡単に言うと、地域の子育て互助会「ファミリーサポート」※をIT化して利用しやすくし（今は電話でまずは予定確認から。とても利用しづらい...）

「謝礼」をもっと現代ふう&融通がきくかたちにする。

※市川市版のファミリーサポート：<https://www.city.ichikawa.lg.jp/common/000342671.pdf>

【背景・ニーズ】

・5歳育児中の自分自身がとても困ってきた・困っていることへの解決法
・私の母親は、企業でITエンジニアとして働きながら育児していましたが、親子とも不満なくそれができたのは、私が幼稚園から帰ったら預かってくれる「ウチきていいよ」のご近所さんのおかげだったと感謝しています。
今はそうした地域ネットワークをなかなか築きづらいので、自治体や外部団体が助けるしくみがあると子育てがしやすく、それが、2人目をうむ気力・体力・安心感・イメージにつながるかと思います（少子化対策）。

・なお、キッズラインも助かるサービスですが（1度利用）、プロのサポーターが来てくれる仕組みで、利用ハードルが（特に金額の面で）高い
・その点、ファミリーサポートはとても良い趣旨・仕組みながらあまりにアナログで、利用しづらいのが難点（結局、数度しか利用できていない）
・5分、10分、1時間でも少し子どもをみてもらえると、母親の行動範囲は劇的に広がり、病院・美容院、ちょっとした手続きはもちろん助かるし、再就職も容易になるかと思います。
※保育園は、就職やその見込みがないと基本入れず（しかも就労時間が確実に長い人が優先的に良い保育園に入れる）、保育園に預けられないと就職活動はできない。
そうした国の（残念すぎる...）仕組みをすぐ変えることはできないので、せめて「時間を確保」する部分をITの力で円滑になればと思います。

☰ 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

課題：小さい子どもを（ちょっと見てもらえるような）預け先がない、それを解消したい。

（↑育児の負担感・不安感・孤独感が増。行動が制限されることによるストレスや再就職の困難などの問題も）。

☰ 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

小さい子どもを（ちょっと見てもらえるような）預け先を簡単に提供できる・探せる仕組みをつくる

※子どもの手が離れた・近い年の子がいるなどで、逆に「預かってもいいよ」という方もいらっしゃるので（ファミサポのサポート会員さんなど）、そうしたお互い様の精神で地域がまわっていくと、子どもを産み育てやすい、よりよい社会につながっていくと思います。



類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

- ・ベビーシッターサービス：キッズライン、ママココなど
- ・互助会：ファミリーサポート
- ・保育園の一時保育：（要利用資格・常時いっぱいではほぼ使えません）



有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

- ・ファミリーサポートと比べ...IT化している、見える化している
紹介、予定の確認、人と電話でやっている部分（全部アナログ）をIT化することで、使いやすく、提供しやすく。いま、謝礼は「封筒に入れ、子供の見えないところで手渡し」などと決まっていますが、そういったこともIT化（地域通貨などの交換）。
- ・キッズラインなどのベビーシッターサービスと比べ...「家に来てもらう」ことではなく、地域ユーザーの「家」で預かることを前提としている。近くて安価、手軽に利用できる。提供・運営（システムの売り先）は自治体を想定。



実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

【概要】

- ①利用ユーザー、サポートユーザー、両方ユーザーを登録。
- ②サポートユーザーは、「ウチきていいよ」の時間と「その内容」を公開
- ③利用ユーザーは、登録者に利用時間とメッセージを送りOKで成立（このへんは、キッズライン <https://kidsline.me/> と一緒）
- ④利用者は「謝礼」をシステムを通じて払う（地域運用を前提で、地域通貨などを発行してもよいかもしれません）

①～④をIT化、②についてはスマホで確認できるように。

※ユーザー・サポート会員資格の取得、保険の加入などの流れは現状のファミリーサポートの仕組みを参考に実現する。



課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

課題①：IT化の難色を示す（これまでのやり方を変えたくない）自治体での採用が課題となりそうです。

（たとえば、ファミサポでキャンセルはメールNGで「電話」と決まっています。IT化によって利用モラルが低下しないか、みたいな心配をされる方もいるかもしれません）

その点は、トップダウンで克服。

現職の熊谷千葉県知事は、ITリテラシーがあり（NTTコミュニケーションズ出身）、ご自身も育児中で、働く親に寄り添った政策と情報発信を行っていて心強いです。

ということで、まずは千葉県に売り込んで千葉市や市川市で小さく試験導入...みたいな流れがいいかなと思います。

課題②（追記）：安心面での懸念。これは「預ける」という際についてまわる問題かと思えます（極端なところ、母親がずっと見ているのが一番、小さい子供を預けること自体けしからん、かわいそうという考え方の方もいます）。故意の犯罪対策の面は「認定」「面談」プロセスで解消したいと考えています（この部分はシステム化は難しい）。あとは、モニター貸し出しなど、既存のベビーシッターサービスの工夫を取り入れるということで対応していくことになると思います。



期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

開発コスト・期間を具体的に考える際、謝礼（地域通貨）をどうするかでだいぶ変わりそうな気がします。PayPayと連携とかでしたら、システム化自体はあっさり実現できそうな気がします。

（システム開発費の現状相場がわからないので、コストの面はこれくらいでできれば・・・ということだと思います）

【初期リリース】

①謝礼以外の部分：期間半年・1,000万円

- ・会員種別3つ
- ・ユーザー側（公開スケジュールの確認、利用リクエスト）
- ・サポート側（ウチきていいよスケジュールの登録、利用承認）
- ・予約管理、メッセージ機能

②+謝礼の仕組み：期間1年（政治的な話込み）+1,000万円

【それ以降】

- ・月保守／トラブル対応などで30万くらい

未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

小さい子どもを（ちょっと見てもらえるような）預け先を簡単に提供できる・探せる仕組みによって、育児の負担感・不安感・孤独感が減ると思います。

そして、行動が制限されることによるストレスや再就職の困難などの問題の解消にも。

それが、幸せな育児や、子どもを望んでいるけど諦める人の数を減らすことにつながると思います。

また、サポートを提供する側も、子育てにゆるいカタチで関わることが、人生を豊かにし、幸せな地域生活につながると思います。